

令和2年度(第13回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」

防災・減災部門

応募事例名

大規模再開発にあわせた雨水貯留施設の整備 ～渋谷駅周辺における、百年に一度の機会を捉えた官民連携の浸水対策～

応募団体名)東急株式会社・東京都下水道局

応募事例の概要

渋谷駅周辺は谷地形であるため降雨時の雨水が溜まりやすく、1999年には地下街への浸水被害も発生
⇒浸水対策が急務であったが、渋谷駅を中心にビル等の建物が密集しており、施設整備が困難

大規模再開発にあわせ、官民連携して**1時間75ミリ**の降雨に対応する貯留施設(約4,000m³)を整備

早期の供用を実現し、防災機能の向上に貢献

官民連携	施設整備	東急(株)	貯留施設の建設
		下水道局	再開発エリア内の取水管・人孔の整備
	維持管理	下水道局	再開発エリア外の取水管・人孔の整備
		下水道局	整備施設(貯留施設・取水管等)の維持管理



渋谷駅周辺の再開発概要図



地下街への浸水被害(1999年)



雨水貯留施設の概要



雨水貯留施設の状況

PRポイント

- 多くのビル等が密集し、高度な土地利用がなされている渋谷駅周辺の浸水対策として、百年に一度といわれる大規模再開発の機会を捉え、**1時間75ミリ降雨に対応**する雨水貯留施設を効率的に整備
- 区画整理エリア内は事業者、エリア外は下水道局が同時並行で整備を行い、**早期に供用開始**(渋谷駅街区土地区画整理事業区域内は、全額地権者負担にて整備)
⇒関係者との綿密な調整を図りながら整備を進め、近年多発するゲリラ豪雨に対しても**安全安心な渋谷**を実現